

地球温暖化対策計画に掲げる施策の進行管理イメージ

【削減目標】市域からの温室効果ガス排出量を2020年度までに、1990年度比で25%削減する。

社会像ごとの取組  
(現行 108 取組)

進行 管理

新規 低炭素化指標

経済成長などの社会の発展と低炭素化の両立の進行状況を確認、評価する。

(例)

- 製造品出荷額当たりの二酸化炭素排出量
- 非自動車分担率

充実 削減効果指標

(現行 19 指標)

二酸化炭素総排出量の削減状況について、取組の削減効果の視点から進行管理する。

(例)

- 太陽光発電設備の発電出力
- CASBEE 京都評価届出件数

充実 進捗指標

(現行 34 指標)

取組の進行状況について、取組実施量などの視点から進行管理する

(例)

- うちエコ診断の実施数
- 使用済みてんぷら油の回収拠点数

○ 二酸化炭素排出量の削減実態を的確に反映するための削減効果指標の設定イメージ

[考え方]

- ・新規 各削減効果指標は、部門別の二酸化炭素削減量の内訳となるよう設定
- ・従来どおり 各削減効果指標は、二酸化炭素削減効果が、毎年度、算定可能なものを設定
- ・従来どおり 二酸化炭素排出量の削減実態を見える化するため、本市に加え国及び京都府、民間における取組等の削減効果も参入

< 部門等 >	< 細分類 >	< 削減効果指標【吹き出しは、新指標の例】 >
産業部門	特定事業者（産業部門）	特定事業者制度報告書における削減量
	その他事業者（産業部門）	クレジット化された削減量
運輸部門	特定事業者（運輸部門）	特定事業者制度報告書における削減量（鉄道、自動車）
	その他の事業者（運輸部門）	自動車燃費 電気自動車及びプラグインハイブリッド車の普及台数 エコドライバーズ宣言者数 市内自家用車保有台数
	市民等	
民生・業務部門	特定事業者（民生・業務部門）	特定事業者制度報告書における削減量（行政・大学・店舗・病院等）
	その他事業者（民生・業務部門）	クレジット化された削減量
	建築物対策	2000㎡以上の新增築のCASBEE 京都評価届出件数 300～1999㎡の省エネ基準達成建築物数
民生・家庭部門	ライフスタイルの転換	エコ学区における削減量/クレジット化された削減量
	高効率家電・給湯器対策	普及台数
	住宅対策	2000㎡以上の新增築のCASBEE 京都評価届出件数 300～1999㎡の省エネ基準達成建築物数 長期優良住宅認定件数（新築戸建住宅）
廃棄物部門	廃棄物	市処理施設における廃プラスチックの受入量
二酸化炭素削減効果	森林面積	森林面積
	再生可能エネルギーの導入量	太陽光発電設備の発電出力 その他再生可能エネルギー（地域産木質ペレット含む）

製造業等の事務所への新対策の実績

排出割合が大きい「オフィス」「医療・福祉施設」、京都に特徴的な「ホテル・大学等」への新対策の実績

住宅エコリフォーム件数（既築戸建住宅）